

H. P. Report

情報家電の現状 (3)

情報家電というわけではないのですが、近頃の一般向けパソコンにはテレビ画像をVTRのように録画できるものが出てきています。やはりテレビが家庭内の情報入手の中心なのではないでしょうか。インターネットでテレビの番組表を入手してテレビの録画予約もできます。でもそれは単にハードディスクが安く大容量化したことと、リアルタイムで動画を取り込めるほどパソコンの性能がアップしたため、これまでのVTRと使い方は同じということができます。

今、情報入手先の流行といえばもちろんインターネットです。テレビにつなぐだけでインターネットに接続できる（もちろん電話回線はありますが）テレビ接続型のネットマシンがいくつか出てきています（何年か前にはインターネットテレビというものもありましたが）。しかし、そのテレビがデジタル化されることによっていろいろな情報がテレビ電波を使って配信されることとなります。テレビがテレビだけでなく時代です。いろいろな情報が流され、それをどのように使っていか、また、使えるようにするかこれからの情報家電の1つの方向です。そのために登場しようとしているのがホームサーバです。これはまったくこれまでに家庭にあった電化製品とは異質なもので、会社のサーバに近いものです。もちろんそのためには家庭内にLANの環境（有線である必要はありません）が必要となります。このサーバは会社で使っているものとは違い、各自が自分のファイルをためておいたり、プリンタを共有しようとするものではなく、デジタル放送などで配信される情報を一時溜めておくために使うのが1つの使い方となります。テレビ放送ですから、いろいろな情報が空から降ってくるわけですが、その中には必要な情報からあまり必要でない情報までいろいろなものが含まれています。その情報を必要になったときに使うためにためておくのがホームサーバです。もちろん情報の中にはテレビの番組なども含まれます。ただ降ってくる大量なデータをためているのであればどれだけの容量があってもいっぱいになってしまいますし、有料の情報もあるでしょうから選択する必要はあります。このホームサーバがこれからの情報家電の中心になっていくのかもしれませんが、実際はどうでしょうか。確かに情報は無尽蔵に空から降ってきますし、これまでのように情報を入手するために書籍や雑誌などを購入する必要はなくなるでしょうが、うまく使わなければ情報過多で、何をどう使っていけばよいかわからず、結局使えないような状態になってしまうのではないのでしょうか。今も言われていることですが、情報に対する貧富の差（情報貧民）がもっと顕著になってしまうのではないのでしょうか。弱者救済は必要です。使えなければただの箱ではすみません。使えなければ生活が不便になることもあります。ホームサーバは、ホームサーバを意識しない使い方、利用の仕方が出てきてはじめて普及する必要があるのですが、現実にはメーカーの思惑が先行すると考えられます。

情報家電はこれからのもので、家電メーカーとしては必死となっているものでしょう。しかし、いわれはじめてだいたいぶたつように思いますがまだ暗中模索の状態、作る側というよりも受け入れ側の問題でまだまだこれからのものという感じがします。いろいろなショールームなどでこれからの一端は見ることはできるでしょうが、いつになったら普及するのでしょうか。とはいえどもデジタル放送も始まります。いつのまにかなだれのように情報に埋め尽くされる日がくるのかもしれませんが。その日のためにも準備する必要があるのかもしれませんが。

(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 6月19日号

特集 特許で闘う

→知的所有権である特許が企業間の係争をいろいろなところで起こしている。アメリカはプロパテント（特許重視）政策を進め、企業間ばかりでなく個人も大企業に対して提訴を行っている。これまではならなかったビジネスも出る特許が注目されている。

解説 Ethernetが10Gビット/秒へ 通信サービスに価格破壊

→Ethernetの通信速度が10Gビット/秒となり、伝送距離も40kmに伸びる。LANの守備範囲を超えたEthernetが通信サービスの価格破壊を引き起こす。

○日経パソコン 6月26日号

特集 パソコンメーカー サポートランキング

→次の購入の重要な判断材料となるサポート。デルやゲートウェイの外資メーカーのサポートのよさが目立っている。

○日経バイト 7月号

特集 Windows Meか2000 Professionalか

→2001年にNTカーネルに一本化されるWindows。Meの登場で98は姿を消し、2000はいまだ動くハードソフトが限られている。2001年までの間選択するのはMeか2000か。コンシューマ用とされているMeは、これまでのマシンでは使用することができず、デジタル署名の入ったデバイスドライバ以外は警告を出す。ビジネス用の2000はセキュリティを重視し、このままでは、一本化する「Whistler」の普及を待つのが得策か。

○INTERROP 8月号

特集 11Mbps無線LAN導入のポイント

→11Mbpsの高速無線LANの規格が決まったことにより製品が各社から出荷されている。14チャンネル使えるようになった2.4GHz帯を利用し、これまでの10BASEと遜色なければ十分に使える。その製品トレンド、導入時のポイント、ユーザ事例の視点から紹介。

特集 バックアップの現実解

→高性能化、低価格化でサーバの分散システムの導入を行うとバックアップをどうするかが問題となる。分散環境のバックアップの現状と実際にどうすればよいのかの現実会を探る。

○ASCII 7月号

特集 パソコンの落とし穴100

→自作パソコンが立ち上がらないなどのハード編、常駐ソフトがどうしても外せないなどのソフト編、データバックアップはばっちり…、あつ!などのネット編、添付ファイルをダブルクリックしたらウイルスだったなどのアングラ編などの陥りやすい落とし穴100。

特集 CD-Rで失敗しない9の法則

→メディア、ドライブが安くなり普及し始めたCD-R。その原理の説明か

ら、使い方まで9つの法則として紹介。

○PC STYLE 21 7月号

特集 ノートPC大強化

→これまで拡張とは縁のなかったノートPC。薄型になってシリアルポートもプリンタポートもないものもあるが、USBやPCカードでスキャナからCD-R/W、ハードディスクも拡張できる。ノートPCの拡張術について。

特集 魅せるホームページの作り方

→ホームページを作ったらいろいろな人に見てもらいたくなる。アクセスカウンタや掲示板などCGIを使った魅せるホームページの作り方。

○ASCII DOS/V 8月号

特集 焼くぜっ!CD-R/RW

→標準搭載のパソコンも増えたCD-R/RW。データのバックアップからデジカメの画像データの管理といろいろなものに使われている。基本的な仕組みから最新情報、使い方までの特集

特集 Windows Me 徹底検証

→Win98の次版WinMe。どこがどう違うのか。それは、システムの信頼性、保守性の向上、ネットワーク機能の強化、マルチメディア機能の拡張に集約される。それぞれを検証。

○DOS/V magazine 7月15日号

特集 ブランニューAthlon×Duronパワー全開

→L2のキャッシュをオンチップに搭載した新型CPU Athlonと低価格PC向けCPU Duronが相次いでAMDから発表された。この新型CPUの性能はどの程度のものであるか。

特集 Windows 98 復旧テクニック

→動作が不安定になった場合。立ち上がらなくなったらどうするか。相性の悪いアプリケーションをインストールしてしまったらどうするか。Win98の復旧のテクニック。